2024年度入学試験問題

国　語

注　意

一　問題冊子は一冊（十七ページ）、解答用紙は二枚です。

二　試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等により解答できない場合は、手を高く挙げて監督者に知らせなさい。

三　すべての解答用紙に、それぞれ二箇所受験番号を算用数字で記入しなさい。

四　解答は、すべて解答用紙の指定されたところに書きなさい。

五　試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

問題　一

次の文章は、主に奈良時代の宝物を収めた正倉院とその宝物の保存・管理・展示（正倉院展）などについて述べたものである。これを読んで、後の問に答えなさい。（出題の都合上、本文に手を加えたところがある。）

著作権等の都合により公開いたしません。

著作権等の都合により公開いたしません。

著作権等の都合により公開いたしません。

著作権等の都合により公開いたしません。

（西川明彦『正倉院のしごと　宝物を守り伝える舞台裏』による）

注一　インバウンド客＝ここでは海外から国内（日本）へ訪れる外国人旅行者のこと。
注二　企業メセナ＝経済的に成り立ちにくい文化・芸術活動に対する企業の支援のこと。
注三　日本学術会議＝日本における科学者の代表機関であり、内閣府の所管である。科学に関する重要事項の審議および政府への答申・勧告などの活動を行っている。
注四　勅封＝古代以来、天皇の権威に基づいて正倉の扉の開閉は厳格に管理されており、これを勅封という。なお、現在は勅封の開閉はあくまでも国が管理しており、天皇は決定事項の確認を行っている。
注五　コンセンサス＝合意のこと。

問一　傍線部**アイウ**のカタカナ部分を漢字に直しなさい。
問二　空欄**A**について、本文の趣旨に適した漢字一字を書きなさい。
問三　傍線部①について、過去と現在における「正倉院展の意義」とはどのようなものであると筆者は考えているのか、本文に即して説明しなさい。

問四　傍線部②「プレミア化」について、具体的にはどのようなことを指しているのか、本文に即して説明しなさい。

問五　今後の正倉院展の開催のあり方について、いかなる理念のもとにどのような施設と展示内容を企画すべきであると筆者は主張しているのか、本文全体の内容をふまえて説明しなさい。

（次のページにも問題があります）

問題　二

次の文章は、仕事を通じて親しくなった「聖」と「わたし」の関係を「わたし」の視点から描いたものである。（出題の都合上、【一】【二】【三】の三つの部分に区切っているが、話は続いている。）これを読んで、後の問に答えなさい。

【一】

著作権等の都合により公開いたしません。

【二】

著作権等の都合により公開いたしません。

著作権等の都合により公開いたしません。

【三】

著作権等の都合により公開いたしません。

著作権等の都合により公開いたしません。

著作権等の都合により公開いたしません。

著作権等の都合により公開いたしません。

著作権等の都合により公開いたしません。

著作権等の都合により公開いたしません。

（川上未映子『すべて真夜中の恋人たち』による）

注一　校閲局＝原稿・印刷物などの不備や誤りを調べ正す部署。

注二　フリーランス＝自由契約。

注三　ゲラ＝校正刷り。

注四　デイトレード＝一日のうちに売買を終えて利益を得る株式取引。

問一　【二】の部分で「わたし」がとらえた「聖」の印象を本文に即してまとめなさい。

問二　傍線部①のように「わたし」が反応したのはなぜか、説明しなさい。

問三　傍線部②「都合のよさ」とは具体的にはどういうことか、説明しなさい。

問四　傍線部③のように「わたし」が笑うことができたのはなぜか、説明しなさい。

問五　傍線部④の「信用」と「信頼」のちがいを「聖」はどのようにとらえているか、説明しなさい。

問題　三

次の文章は、白河法皇が北面の武士たちに任国へ下るまねをさせて御覧になった際の出来事である。これを読んで、後の問に答えなさい。

著作権等の都合により公開いたしません。

（『宇治拾遺物語』による）

注一　北面の者＝北面の武士。院の御所を警護する武士。

注二　前駆＝馬に乗って先導すること。また、その者。
注三　衛府＝宮中を護衛し、行幸の供奉をつかさどる役所の総称。また、そこに所属する武官。
注四　胡籙＝矢を入れて携える武具。
注五　やうれ＝目下の者に呼びかけるときにいう語。やあ。やい。おい。
注六　無期＝久しいこと。
注七　といふ定＝「とはいうものの」の意。
注八　縫物＝縫い取り。刺繍。
注九　賀茂祭＝京都の上賀茂神社と下鴨神社の祭り。
注十　進奉不参＝伺候しないこと。

問一　傍線部**アイウエ**を現代語訳しなさい。
問二　破線部①について、源行遠の行動の理由を本文に即してわかりやすく説明しなさい。
問三　破線部②について、源行遠が不審に思ったのはなぜか、本文に即してわかりやすく説明しなさい。
問四　白河法皇が源行遠の謹慎処分を解いた理由を本文に即してわかりやすく説明しなさい。

問題　四

次の文章は、蘇軾（そしょく）（一〇三六～一一〇一）が友人の文与可（一〇一八～一〇七九）から竹の絵の描き方を教わり、その経験をもとに考えを述べたものである。これを読んで、後の問に答えなさい。（設問の都合上、訓点を省略した所がある。）

著作権等の都合により公開いたしません。

著作権等の都合により公開いたしません。

（蘇軾『東坡集』による）

注一　蜩腹蛇蚹＝蝉の腹、蛇が脱皮したあとの皮に見られる横紋。ここではタケノコを形容したもの。
注二　剣抜＝抜きはなった剣のように鋭くまっすぐな様子。
注三　十尋＝約十八メートル。ここでは竹が極めて高く成長すること。
注四　急起＝すぐにはじめること。
注五　直遂＝ひたすらにまっすぐ進むこと。
注六　兎起鶻落＝ウサギが跳ねたり、ハヤブサが急降下したりすること。ここでは動作の速いこと。
注七　不学之過＝練習が不充分なことによる失敗。
注八　見＝ここでは理解すること。
注九　平居＝ふだん。
注十　了然＝はっきりとわかっているつもり。
注十一　忽焉＝たちまち。

問一　傍線部①を現代語訳しなさい。
問二　傍線部②は、具体的には何がどのようになることか、簡潔に述べなさい。
問三　傍線部③をすべて平仮名で書き下しなさい。
問四　傍線部④について、筆者は何を言おうとしているのか、この段落の内容をふまえて簡潔に述べなさい。